

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## ② 施設・事業所情報

名称：白幡保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：吉田 香澄	定員（利用人数）：87名（97名）	
所在地：〒221-0004 横浜市神奈川区西大町93		
TEL：045-401-1246	ホームページ： <a href="https://www.shoutokukai.jp/facilities/shirahata">https://www.shoutokukai.jp/facilities/shirahata</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 1974年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 聖徳会		
職員数	常勤職員： 28 名	非常勤職員 5 名
専門職員	保育士：園長 1 名	栄養士（内管理栄養士） 2(1) 名
	保育士：主任、副主任 4 名	調理師 2 名
	保育士 19 名	保育補助 2 名
	看護師 1 名	
施設・設備の概要	(居室数)	(設備等)
	0～2歳児室 3 室	建物の構造：
	3～5歳児室 3 室	鉄筋コンクリート造り2階建て
	沐浴室 1 室	建物延床面積：498.48㎡
	調理室 1 室	園庭：416.0㎡
	トイレ 2 室	
	事務室 1 室	
職員休憩室（更衣室） 2 室		

## ③ 理念・基本方針

## 【保育理念】

未来を創る子どもたちへ私たちが送りたい大切なもの、「それは自分らしく、幸せに生きる力」です。白幡保育園では理論に基づいた専門知識と技術を用いてあたたかく人とつながり、心をこめ、ともに考え、身体をつかい、子どもたちが自己も他者も大切に、自分の足で人生を歩む基盤となる力を育みます。

## 【保育方針】

1. 「子どもにとって明日もまた来たいと思う保育園」
  - ・子どもが安心して過ごせる
  - ・子どもの関心・意欲を最大に伸ばす
  - ・子どもが生きていく中で必要な知識・技能・技術を発達段階に応じて身に付ける
  - ・子どもが尊重される
2. 「保護者にとって安心して預けられる保育園」
  - ・保護者の皆様が安心して就労できる環境をつくる
  - ・保護者の皆様の子育てに役立つ、情報交換・交流に場を提供する

・保護者の皆様の子育てが、親子ともにさらなる幸せな時間になるよう援助をおこなう

#### ④ 施設・事業所の特徴的な取組

##### 【立地および施設の概要】

白幡保育園は、1974年4月に開園し、今年で48年目を迎えた歴史ある保育園です。JR横浜線大口駅、東急東横線白楽駅からいずれも徒歩13分の閑静な住宅地の一角にあり、周囲には大小の公園が点在し、散歩や園外活動に利用しています。現在、定員87名のところ97名を受け入れています。建物は2階建て鉄筋コンクリート造り（498㎡）で、樹木や大型遊具、砂場、築山等がある約416㎡の園庭があります。運営法人は、社会福祉法人聖徳会で、横浜市に当園を含め6園、埼玉県に1園の保育園があります。

##### 【園の特徴】

法人の理念をもとに、「子どもが主役」ということを忘れずに保育を行っています。長時間、保育園で安心して過ごすことができ、「子どもたちが大切にされていると感じる場」であるように、子どもたちの異なる発達や個性を職員全体で受け止め、大切に関わっています。子どもたちは、豊かな自然環境のもとで、散歩や戸外活動を十分に楽しみ、遊びを通してのさまざまな活動、人と人との関りを大切にしています。

#### ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年4月1日（契約日） ～ 2022年12月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2016年度）

#### ⑥ 総評

##### ◇特長や今後期待される点

##### 1. 保育ICTアプリの有効活用の工夫

業務の実効性や保護者の利便性向上、職員の負担軽減を図るため、今年度から保育ICTアプリを導入しました。職員はアプリを利用して保護者アンケートが簡単にできることに着目し、保護者が悩んでいることについて、アンケートを行うなどICTを活用する工夫に努めています。アンケートで一番多かった「食事」についての悩み、例えばNO.1の「なかなか野菜を食べてくれない」からNO.5まで、園独自の取組として、保護者に配信しています。平均在職年数12年の職員の豊富な経験談と日ごろの保育で実践していることを、具体的に回答やアドバイスとして、分かりやすく絵やグラフにしてまとめました。保護者の評判もよく、今後は、その他に悩みの多かった遊びや排せつ等についても、配信を行う予定です。

##### 2. 子どもに寄り添い、子どもの発達を支援していく丁寧な保育

乳児（0歳児）では、月齢等の発達状況に応じて、ハイハイやつかまり立ち、歩くなど探索活動や遊びが主体的に行えるように畳のスペースを作るなど、安全な環境に配慮しています。また、子どもがゆったりと安心して過ごせるように、職員は子どもの表情をよく観察し、喃語等に応えるなど、保育士が応答的に関わり、生理的な欲求の充足や情緒の安定を図りながら、愛着関係を形成しています。

3歳未満児（1、2歳児）では、年齢ごとの月間指導計画のもと、養護と教育が一体的に行えるように具体的に目標設定しています。遊びや生活の中で子どもが自分でしようとしているときには、そばで見守りながらじっくりと取り組めるように支援しています。個々の成長を見極めながら、自分でできた時には褒め、喜びを共有

しています。安心できる職員との関わりの中で、1歳児は簡単な身の回りのことに興味を持ち、自分でしようとする気持ちを育めるように援助しています。2歳児は身の回りのことを行い、「自分でやりたい」気持ちを受け止め、自分でできた喜びを職員と共感しながら自信につなげていくように支援しています。

### 3. 食に関する豊かな体験

職員は、子どもたちが食に関する豊かな体験ができるように、様々な工夫をしています。1～3月には年長児に人気メニューやもう1度食べたいものを尋ね、リクエストされた食事を提供しています。今年の野菜の栽培は、子どもたちが案を出し合い、投票で小玉スイカ、トウモロコシ、ニンジン、はつか大根に決めました。当番が水やりをし、日々野菜の成長に驚き、友達に教え合って喜ぶ姿があります。小玉スイカはお楽しみ保育でスイカ割りに使いました。クッキングではお月見団子を作ったり、クリスマスケーキのトッピング、ラップでおにぎり作り等の食事を楽しむ工夫をしています。3～5歳児クラスは園庭に毎年、実をつけるみかんの木のみかんを食べ、味を確認するなど子どもが食について関心を深め、また感謝して食べることを学べるようにしています。

### 4. 中期計画、事業計画の実施状況の評価を行える様式の作成の検討

中期計画については、3年間のビジョン・課題に対し、年度ごとに実施状況・進捗状況の評価を行える様式の作成、および必要に応じて見直しを行っていくことが期待されます。また、単年度の事業計画については、半期ごと程度を目途に実施状況・進捗状況の評価を行える様式の作成が期待されます。

### 5. 保育士人材育成計画の作成の検討

人材育成については、職員は、年度末に「年間自己目標表」により、次年度の目標を具体的に立て、自己の資質向上の実現に向け取り組んでいます。しかしながら、育成計画にもとづいた人材の育成が実施されていません。保育士人材育成表（人材育成計画）を作成することが期待されます。

## ⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、3回目の第三者評価を受審致しました。前回、前々回の受審で明らかになった課題に取り組み保育して参りました。事前に自己評価を行う時点で、職員が日頃の保育を振り返り、話し合ったり考えたりする良い機会となりました。保育園全体で取り組むことにより、職員の資質向上はもちろんの事、職員間の団結力が一層増しました。日頃より、保育園が「子どもが大切にされていると感じる場」「いごちのよい場所」であるよう、心がけております。利用者アンケートでは、利用者を尊重する姿勢について高い評価を頂いたことは、施設の根幹にかかわることであるので、職員にとって大きな励みとなりました。厳しいご意見もありましたが、自分たちの弱みを受け止め、見直す機会になったことは、今後の保育の質を向上させるためにとっても重要な事でした。

評価結果につきましては真摯に受け止め、今後とも保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力を得ながら、子どもの目線に立った保育を実施し、皆様から選ばれる保育園となるよう努力して参ります。

白幡保育園 園長 吉田香澄

## ⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり